

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品 の 名 称 : チチブFコート・3D ラベンダーグレー・シルバーグレー・ダルホワイト  
 会 社 名 : 秩父コンクリート工業株式会社  
 住 所 : 東京都台東区上野7-7-6  
 担 当 部 門 : 営業本部  
 電 話 : 03-3844-5062  
 F A X : 03-3844-5087  
 緊 急 連 絡 先 : 生産・技術本部 熊谷工場 048-521-2161  
 推奨用途及び使用上の制限 : 建築用塗料  
 作成・改定日 : 2016年10月14日

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

皮膚腐食性/刺激性	区分3
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 (呼吸器系、腎臓)
水生環境有害性(急性)	区分3

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

軽度の皮膚刺激  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 発がんのおそれ  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 臓器(呼吸器系)の障害  
 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器(呼吸器系、腎臓)の障害  
 水生生物に有害

#### 注意書き

##### 《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 必要な時以外は環境への放出を避けること。

##### 《応急措置》

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
 特別な処置が必要である。  
 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

##### 《保管》

施錠して保管すること。  
 よく蓋をし、直射日光を避け又凍結しないように5℃～40℃の屋内に貯蔵すること。

##### 《廃棄》

内容物や容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。  
 残滓は産業廃棄物として適切に処理すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

《有害性》 : 知見なし  
 《環境影響》 : 知見なし  
 《物理的及び化学的危険性》 : 知見なし  
 《重要な徴候》 : 特になし  
 《想定される非常事態の概要》 : 特になし  
 《国/地域情報》 : 知見なし

### 3. 組成成分情報 (化管法、労安法、毒劇法におけるSDS表示対象物質)

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名 : 樹脂・陶磁器質骨材粒・大理石粉粒・着色珪砂・水  
 濃度又は濃度範囲

化学名又は一般名	含有量(%)	官報公示整理番号		CASNo.
		化審法	安衛法	
シリコーン変成アクリル樹脂エマルジョン	10～20	非公開	—	非公開
フタル酸ジ-n-ブチル	0.1～1	3-1303	—	84-74-2
結晶質-石英	10～25	1-548	—	14808-60-7
炭酸カルシウム	45～60	1-122	—	471-34-1

法規制対象成分

成分	安衛法	PRTR法
フタル酸ジ-n-ブチル	表示対象物/通知対象物	第1種指定化学物質 第354号
結晶質-石英	表示対象物/通知対象物	指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

特になし

### 4. 応急措置

異なるばく露経路、すなわち吸入、皮膚や眼との接触及び経口摂取に従って細分された必要な措置  
 眼に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で洗い流す。
- ・上下の瞼を持ち上げるにより、眼の完全な洗浄を行う。
- ・眼の損傷の後のコンタクトレンズの除去は熟練者により処置する。
- ・できるだけ早急に医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布等にてすばやく拭き取る。
- ・大量の水及び石鹸にて十分に洗浄する。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、痛み等の刺激があれば医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を取り除くこと。

吸入した場合

- ・蒸気、ガス、粉塵、燃焼生成物等を吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静に休ませる。
- ・当該SDSやラベルを医師に示し、診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物がある場合、気道確保のため、患者をうつ伏せにするか左側を下にして寝かせ、嘔吐物を飲み込まないようにする。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

最も重要な徴候及び症状

特になし

応急措置をする者の保護

適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

医師に対する特別な注意事項

特になし

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤

水 [○] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 [○]

使ってはならない消火剤

特になし

火災時の特有の危険有害性

この物自体は不燃性で火災の危険性はなし。但し、水が蒸発した残分は可燃性である。

消火作業用の特別な保護具と予防措置

- ・適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用すること。
- ・可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。

- ・ 指定の消火器を使用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

- ・ 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を使用する。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する予防措置

- ・ 利用可能な任意の手段により河川、排水管等への流入を防ぎ、環境への影響を起こさないようにする。
- ・ 河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

回収、中和、封じ込めおよび浄化方法と機材

- ・ スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出時には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。
- ・ 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をすること。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための予防措置

- ・ 換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓をする。
- ・ 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、眼に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- ・ 取り扱い後は手、顔などをよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染物質を持ち込まないこと。

安全な保管条件(配合禁忌等)

- ・ 日光の直射を避ける。
- ・ 容器を密閉して通風の良いところに保管する。
- ・ 適切な容器包装材料に保管する。

## 8. ばく露防止および人に対する保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的ばく露限界値、生物学的限界値)

成分名	管理濃度	許容濃度	
シリコーン変成アクリル樹脂エマルジョン	設定されてない	—	—
フタル酸ジ-n-ブチル	設定されてない	5mg/m <sup>3</sup>	ACGIH(TLV)
結晶質—石英	設定されてない	0.025mg/m <sup>3</sup>	ACGIH(TLV)
炭酸カルシウム	設定されてない	10mg/m <sup>3</sup>	ACGIH(TLV)

設備対策

- ・ 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
- ・ 腐食性物質に、作業者が直接触れたり、ばく露しないように配慮すること。

必要に応じ次の保護具を着用する

- ・ 密閉された場所では送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器、有機防毒マスクを適時選択する。
- ・ 保護眼鏡、不浸透性の保護手袋、防護長靴、防護服。
- ・ 作業中の飲食、喫煙はしないこと。飲食、喫煙前には手を洗うこと。

## 9. 物理的および化学的性質

外観	:	液体	色	:	各色
臭気	:	僅かにアンモニア臭	pH	:	8~9
融点	:	— °C	凝固点	:	— °C
沸点	:	— °C	引火点	:	— °C
発火点	:	— °C	比重	:	1.4~1.8g/cm <sup>3</sup> (20°C)
爆発限界(上限)	:	— %	爆発限界(下限)	:	— %
蒸気圧	:	— Pa	溶解度	:	水で希釈可能
オクタノール/水分配係数	:	—	動粘性率	:	— mm <sup>2</sup> /s

## 10. 安定性および反応性

化学的安定性

- ・ 保管の項目記載の保管条件で安定

危険有害反応可能性

- ・ 特記すべき反応性はなし

避けるべき条件

: 特になし

混触危険物質

: 特になし

危険有害な分解生成物

: この物自体は燃えないが、塗膜が燃えた場合はCO等の有害性ガスを発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

物質名	経口	経皮	吸入/ガス	吸入/蒸気	吸入/粉塵・ミスト
	mg/kg	mg/kg	ppm	mg/l	mg/l
シリコーン変成アクリル樹脂エマルジョン	区分外 —	区分外 —	区分外 —	区分外 —	区分外 —
フタル酸ジ-n-ブチル	区分5 6,300	区分外 >20,000	分類対象外 —	分類できない —	区分外 >15.68
炭酸カルシウム	区分外 6,450	分類できない —	分類対象外 —	分類対象外 —	分類できない —
結晶質-石英	分類できない —	分類できない —	分類対象外 —	分類対象外 —	分類できない —

皮膚腐食性/刺激性	:	シリコーン変成アクリル樹脂エマルジョン(区分3) フタル酸ジ-n-ブチル(区分3)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:	フタル酸ジ-n-ブチル(区分2B)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	シリコーン変成アクリル樹脂エマルジョン(区分1) フタル酸ジ-n-ブチル(区分1)
生殖細胞変異原性	:	フタル酸ジ-n-ブチル(区分外) 結晶質-石英(区分外)
発がん性	:	フタル酸ジ-n-ブチル(区分外) 結晶質-石英(区分1A)
生殖毒性	:	シリコーン変成アクリル樹脂エマルジョン(区分1B) フタル酸ジ-n-ブチル(区分2)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	フタル酸ジ-n-ブチル (区分1 腎臓・神経系 区分3 気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	結晶質-石英(区分1 呼吸器系) フタル酸ジ-n-ブチル(区分1 呼吸器、区分2 精巣・肝臓) 結晶質-石英(区分1 呼吸器系・腎臓)
吸引力呼吸器有害性	:	—
組成物に関する有害性情報	:	皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある
製品に関する有害性情報	:	製品としての安全性試験を行っていない

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	:	シリコーン変成アクリル樹脂エマルジョン(区分3) フタル酸ジ-n-ブチル(区分1)
水生環境有害性(長期間)	:	シリコーン変成アクリル樹脂エマルジョン(区分3) フタル酸ジ-n-ブチル(区分外)
生態毒性	:	データなし
残留性/分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	データなし
他の有害影響	:	データなし
製品	:	漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取り扱いに関する情報	:	容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
	:	排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
	:	残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。
	:	残滓は産業廃棄物として適切に処理すること。
汚染容器包装の廃棄方法	:	使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をすること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	:	非該当
品名 (国連輸送名)	:	非該当
国連分類	:	非該当
容器等級	:	非該当
海洋汚染物質	:	データなし
MARPOL	:	非該当

## 特別の安全対策

共通	取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
陸上輸送	車両等によって搬送する場合、荷送り人は運送人に運送注意書やイエローカードを携帯させる。 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。

## 15. 適用法令

- ・ 消防法 : 非該当
- ・ 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- ・ 労働安全衛生法 : 法第57条の2 施行令第18条の2別表第9 表示対象物/通知対象物  
政令番号 第312号 結晶質一石英  
政令番号 第479号 フタル酸ジ-n-ブチル
- ・ PRTR法 : 第1種指定化学物質  
法第2条第2項 施行令第1条別表第1  
政令番号 第354号 フタル酸ジ-n-ブチル
- ・ 船舶安全法 : 非該当
- ・ 航空法 : 非該当

## 16. その他情報

## 主な引用文献

- ・ (社)日本塗料工業会編「原材料物質データベース」
- ・ 溶剤ポケットブック
- ・ 危険防災救急便覧
- ・ 国際化学物質安全カード(ICSC)
- ・ (社)日本塗料工業会編GHS対応SDS/ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]
- ・ (社)日本塗料工業会編モデルSDS/モデルラベル事例集[混合物(塗料用)]
- ・ NITE(製品評価技術基盤機構)化学物質総合情報システム
- ・ 中央労働災害防止協会「GHS対応による混合物(化学物質)のSDS作成手法の研修テキスト(改訂版)」
- ・ 原材料SDS

## 【注意】

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考条件として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業所は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる事が必要である事を理解した上で、活用されるようお願いいたします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改定されることがあります。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって、提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行って下さい。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは、安全の保証書ではありません。

以上